

(学校用)

様式 A-1

平成 23 年 11 月 14
日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 愛知県立瑞陵高等学校 平松 雅大
2. 講師氏名: Lukasz Kotula 博士 名古屋大学
3. 同行者氏名: 名古屋大学 中園幹生教授
4. 実施日時: 平成 23 年 11 月 9 日 (水) 13 : 50 ~ 16 : 30
5. 参加生徒: 2 年生 38 人、 1 年生 0 人、 3 年生 0 人 (合計 38 人)
備考: (例: 理数科の生徒) 202 コスモサイエンスコースの生徒
6. 講演題目: (英文) Adaptation of plants to waterlogging stress
(和文)
7. 講演概要:
[前半] 講義 ・母国ポーランドの話 ・科学者になった理由
・研究分野の生物学について
[後半] 生徒実験 ・LM 法を用いた植物組織の単離
講義は、内容に対する通訳はなく、すべて英語によるもの。生徒の英語での自己紹介に答えて頂き、後半では質疑応答の時間を設けた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
(1) 講演時間 約 45 分 質疑応答時間 約 10 分
(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、生徒実験
(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
名古屋大学 中園幹生教授
(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: